

温泉場のまちづくりと万葉公園再生の方向性

<温泉場のまちづくりのコンセプト>

平成28年度在先導的官民連携支援事業における住民との検討を通して、温泉場エリアのまちづくりのコンセプトを「知の温泉場」、さらに万葉公園再生のコンセプトを「湯河原温泉場の屋外リビング&ガーデン」と位置付けました。

「知」とは伝統を誇る温泉文化と多くの文人墨客に愛されてきた静穏な温泉場としての佇まいなどから「知性があること」「大人であること」を意図しています。日本の温泉文化とその歴史を存分に感じながらも、画家や文人が愛した創造性のある土地性や穏やかで繊細な谷間の自然などの地域資源を生かした湯河原ならではの特徴を、他の温泉場とは異なる「知の温泉場」と位置付け、温泉場を訪れる全ての人々の身体・頭・心を癒し、新たな知の創造に向かう鋭気を養うことのできる大人の癒し場をつくることを目指しています。

古きを感じ、新しきを生み出す「知の温泉場」
 — 歴史ある温泉場に浸かり、自分を見つめ、明日を考える —

歴史を重ねてきた日本の代表的な温泉場である湯河原。温泉だけではなく、歴史文化、街並み、文学的・哲学的な姿勢、豊かな自然、食文化など、「歴史ある温泉場全体に浸かる」ことで自分を見つめ直し、明日の生き方・健康・仕事・知識などを考える。それが湯河原温泉の新しい過ごし方です。

<万葉公園再生のコンセプト>

万葉公園は温泉場の中心的な場所に位置し、千歳川の渓谷に広がる日本的な自然を有する美しい場所です。源泉や温泉の神を祀る神社にも隣接し、足湯施設を運営してきた歴史など温泉の要素を色濃く持ち合わせています。

未来の万葉公園には、このような地域資源を活用し、温泉場に不足している旅館以外のアクティビティの場や地域のガーデンなどとして、「知の温泉場」を訪れる全てのお客様にとってのリビングとなりガーデンとなってほしいという地域の想いが込められています。

湯河原温泉場の「屋外リビング&ガーデン」
 — 湯河原温泉場のみんなが使える、自然と温泉、歴史文化を楽しむ自然温泉公園 —

- ・ 地域住民や宿泊者がゆったりした癒しの時間を楽しむ敷地外ガーデンとして
- ・ 自然を愛でながら温泉を楽しむことのできる日帰り温泉浴場として
- ・ 温泉入浴とともに、神社で健康を願う祈りの場として
 - ・ 日本の繊細な自然に触れる自然庭園として
- ・ 新しい物事を考える思考の場や癒しの場として
- ・ 地域の未来をつくる会議やイベント会場として
- ・ 湯河原の歴史文化を知るライブラリーとして
- ・ 温泉文化や自然と共に食事できるカフェダイニングとして
- ・ 観光客が情報を得る情報ステーションとして

.....

<温泉場のまちづくりのイメージ>

